

## 学校教育自己診断2025 分析結果

令和8年1月5日

先日は学校教育自己診断のアンケートへのご協力ありがとうございました。たくさんの保護者の方からご提出いただきました。重ねてお礼申し上げます。

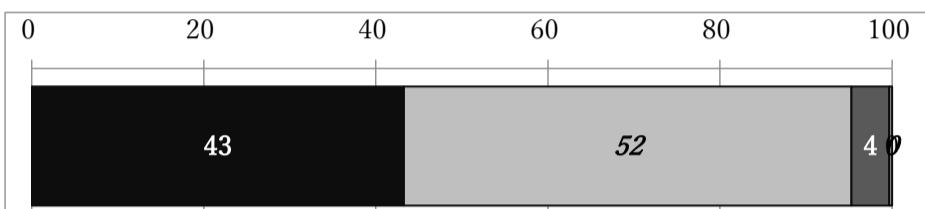
今年度も結果としましては、全体的に、肯定的回答(そう思う・だいたいそう思う)が8割~9割程度と高い水準を保てていることがわかりました。しかし、経年比較すると、質問内容によって、改善傾向にあるものもあれば、課題として残ってしまっているものもあることがわかりました。この結果をしっかり受け止めて、次年度少しでも活かせるように尽力してまいりたいと考えております。ご協力ありがとうございました。今後ともご理解ご協力よろしくお願ひいたします。

以下に今年度の設問ごとの結果グラフと、分析を掲載させていただきます。

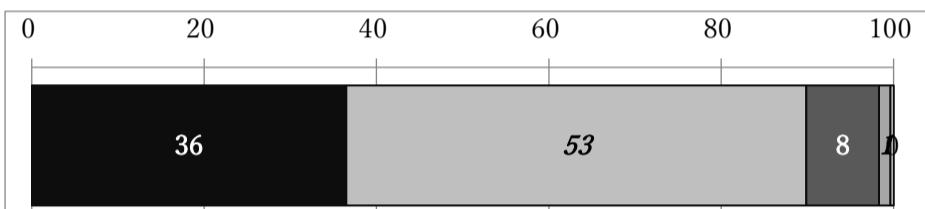
■ あてはまる ■ どちらかというとあてはまる ■ どちらかというとあてはまらない ■ あてはまらない □ 無回答

四捨五入の関係で100%からズレているものもあります。

保護者:学校は教育方針をわかりやすく伝えている/児童実施なし

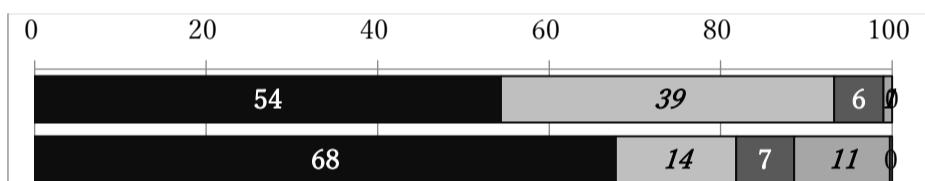


保護者:学校では、特色のある教育活動が行われている/児童実施なし



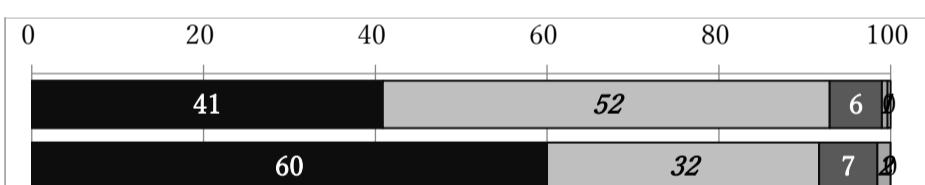
保護者:学校は、専科・少人数指導や昼学習など工夫した教育活動を行っている

児童:担任の先生以外と一緒に勉強する機会がある



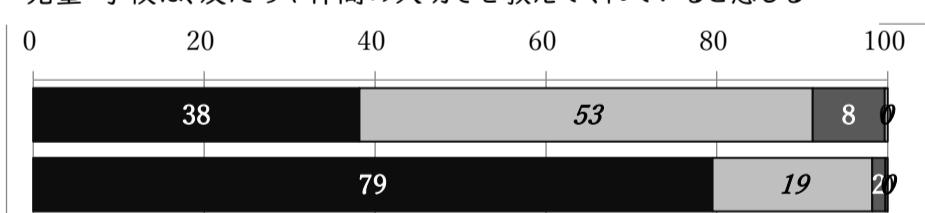
保護者:学校は、自分の考えをもって学習できる子どもを育てようとしている

児童:自分の考えをもって学習できている



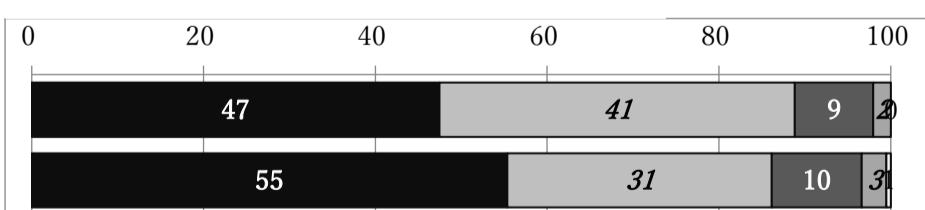
保護者:学校は、互いに認め合い、高め合う仲間づくりをすすめている

児童:学校は、友だちや仲間の大切さを教えてくれていると感じる



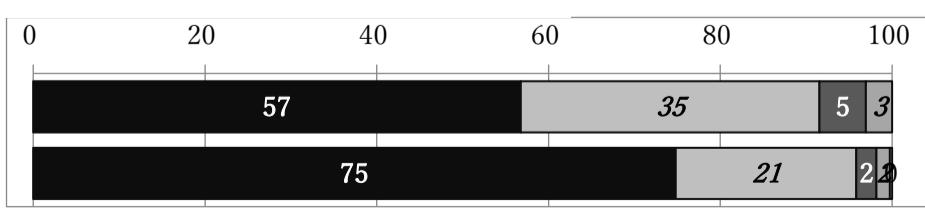
保護者:子どもは、あいさつができる子に育っている

児童:自分から進んであいさつをしている



保護者:子どもは、学校生活を楽しんでいる

児童:わたしは学校生活を楽しんでいます



アンケートへの回答ありがとうございました。

すべての結果を全教職員で確認しました。

これからの学校運営に役立てていこうと考えております。

下記のコメントについてです。

学校として特に課題と考えている設問や、保護者のみなさまに知ってほしいことを記載しております。ご一読いただけすると幸いです。

次の設問とも関連いたしますが、低学年からの専科(図工・音楽など)指導は本校の特色と言える取組みです。町からの援助によって成立しているため、今後も専門性の高い教員を配置し子どもたちの学習意欲を高めていくことを努めてまいります。

令和7年度の専科指導体制について

1.2年生:音楽・図工にそれぞれ専科教員を配置しています。

3年生:音楽・図工・図書(書写)・外国語活動は専科教員を配置し、算数は分割や少人数指導を行っています。

4年生:音楽・外国語・図書(書写)は専科教員を配置しています。算数は分割授業やSE担当者による授業を行っています。

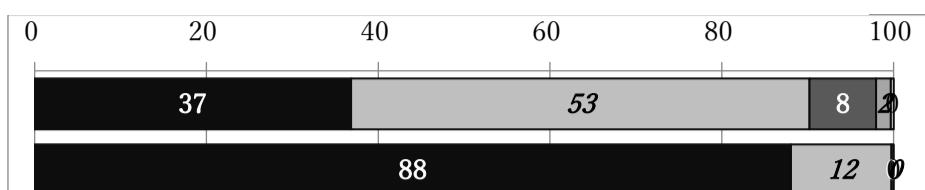
5.6年生:音楽・外国語・体育・理科・家庭・図書(書写)は専科教員を配置しています。算数は分割授業やSE担当者による授業を行っています。

\*昼学習では、たくさんの教員や地域ボランティアの方々等が関わっています。今後も子どもたちに寄り添いながら進めてまいります。

あいさつは心の扉を開く鍵として学校でも大切にしています。家庭や校内のみならず地域の見守り隊の方などにもあいさつできるといいですね。研究会等で来校される方々からは、「子どもも大人もあいさつのできる学校で素敵ですね。」とお褒めいただくこともあります。

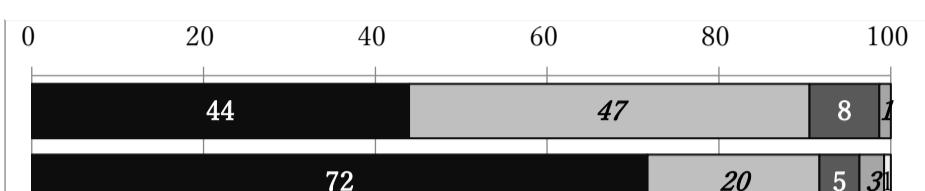
「どちらかというとあてはまる」を含めると、保護者のみなさま、子どもたちともに9割以上が肯定的回答をいただき、好結果だった昨年度よりもさらにいい結果となりました。ただ、学校としましては、一部とはいえせっかくいただいた否定的な回答を丁寧に見取ることで貴重な意見として捉え、みんなが楽しい学校づくりに向けて考えさせていただきたいと思います。

保護者:学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる  
児童:先生たちは、いじめや暴力はいけないことだと教えてくれている



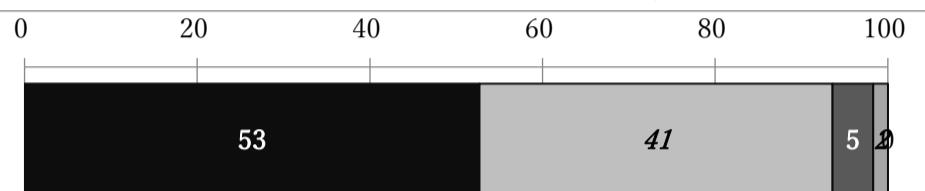
「いじめ」は重大な人権侵害であり、決して許されるものではありません。そんな中、保護者のみなさまの8% (R6は14%) から否定的な回答をいただいたことを重く受け止め、学校における「いじめ」や「暴力」についての取組をこれまで以上に理解していただけるよう努めてまいります。

保護者:学校は、子どもに関する保護者の悩みや相談に適切に応じている。  
児童:もし、困ったり、悩んだりしたら相談できる先生がいる



相談できる大人がいないと回答している子どもが8%いることは大きな課題であると捉えています。学校には担任の先生以外にもたくさんの先生がいます。自分が話しやすいなど感じる先生に相談してください。担任外の先生にはみんなの先生である意識をもってもらい、誰からでも相談相手になれるよう努めます。

保護者:学校は、家庭への連絡をきちんと行っている／児童実施なし

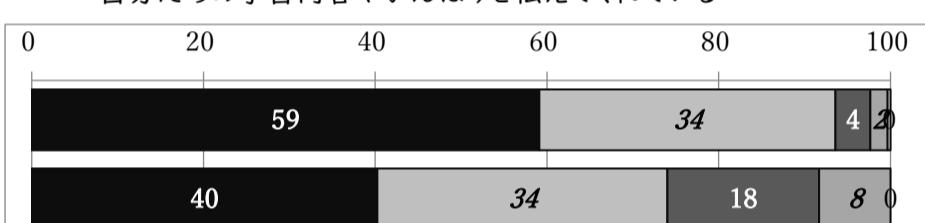


本来100%をめざさなければならない項目で、5%の保護者のみなさまの否定的な回答を重く受け止め、適切な連絡に努めてまいります。毎日の連絡帳に加え、スクリレを効果的活用し情報提供を行います。

保護者:学習の内容や様子・進度などを

懇談やホームページ・学級(学年)通信などによって知ることができる

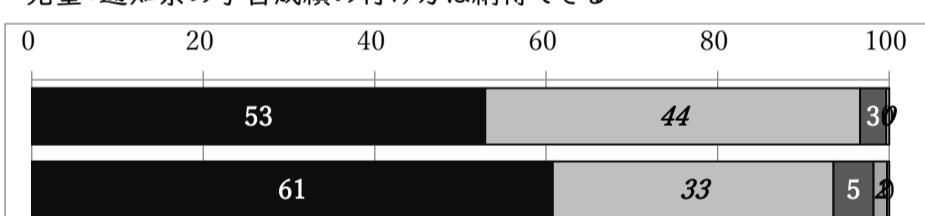
児童:ホームページ・学級(学年)通信などで、  
自分たちの学習内容やがんばりを伝えてくれている



保護者のみなさまからは非常にたくさん肯定的な回答をいただきましたが、子どもたちの中で26%が否定的な回答をしていることをしっかりと受け止めたいと思います。学年や学校全体のことは、学校H.Pや学校だよりにて周知を図っております。正門前掲示板でも月ごとに更新しております。地域とともにある学校の推進のために多くの皆様に知っていただけると幸いです。

保護者:通知票は学習成績を適切に反映している

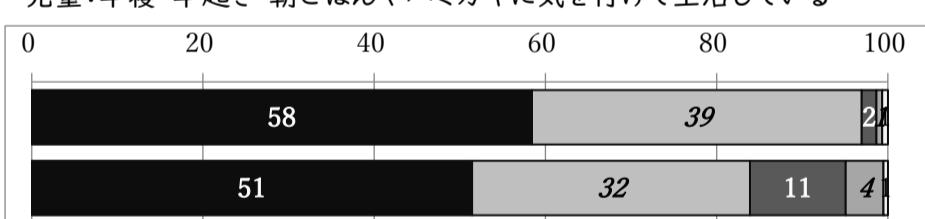
児童:通知票の学習成績の付け方は納得できる



学習成績は子どもたちの頑張りの指標となる大切なものです。保護者のみなさまには先日の懇談会で、子どもたちには日々の授業や教育活動、終業式にて通知表の判断基準等をお話しください。

保護者:学校は、規則正しい生活を送るための食育に取り組んでいる

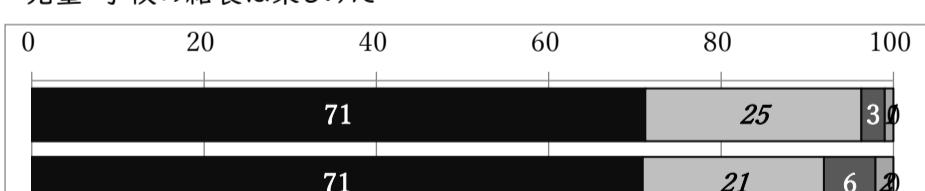
児童:早寝・早起き・朝ごはんやハミガキに気を付けて生活している



この設問は、子どもたちの否定的な回答がここ数年で最も多かったものになります。特に歯磨きをしないまま登校している子どもが増加しているようです。歯は一生自分のものとして付き合っていくものです。ご家庭でのお声掛けをよろしくお願いします。

保護者:学校の給食について、おおむね満足している

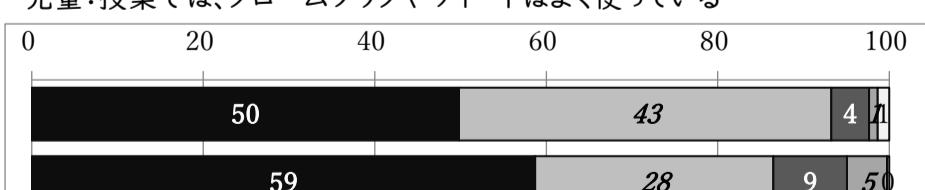
児童:学校の給食は楽しみだ



今年度から栄養教諭に加え学校栄養職員の府加配を受け、より安全で充実した給食を提供できていると思います。栄養面だけではなく、地産地消や、金芽米も取り入れております。献立作成委員会を通じて献立のこだわりをお伝えしたり、PTA試食会を行ったりしております。

保護者:学校は、ICTの使用やその環境の充実に取り組んでいる

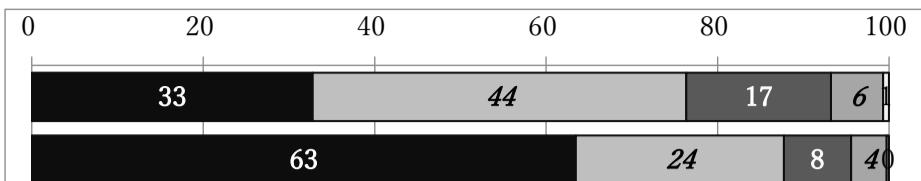
児童:授業では、クロームブックやワードはよく使っている



この設問は、年々改善傾向にあります。校内での活用はもちろん、ご家庭に持ち帰っての学習などが増えているようです。ただ使えばいいというものではありませんが、使い方を学んだり、個別最適な学びを進めたりすることが期待できるツールです。さらに効果的な活用をめざし取り組みを進めてまいります。

保護者:学校の施設・設備は、おおむね満足できる

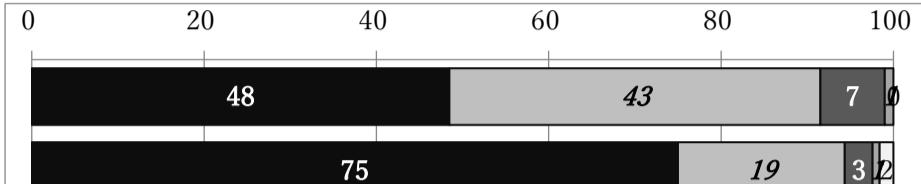
児童:教室の道具や、運動場の遊具や広さは、ほぼ満足できる



学校建て替えが数年先に予定されていることなどもあり、各施設の老朽化は否めません。今年度は中庭にあったすべり台を撤去いたしました。安全を最優先に対応してまいります。修繕を行うことができない箇所もいくつか出ておりますが、できる限り対処してまいります。

保護者:学校は、安全な生活に配慮している

児童:安心して学校に通えている



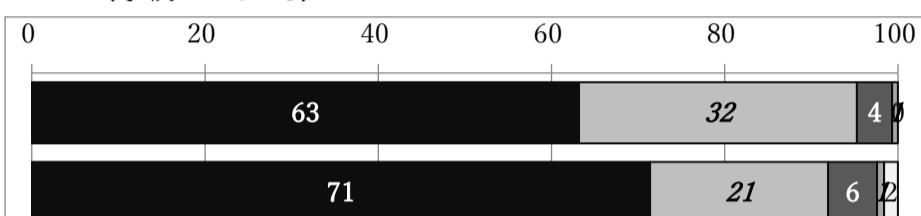
登下校時や学校での休み時間、体育の授業など、あらゆる面で学校は子どもたちの安全を最優先に考えております。今後も保護者のみなさまのご理解を得ができるよう、日々の過ごし方のみならず、「交通安全教室」「ネット安全教室」等検討を進めてまいります。

保護者:地震や台風などの場合の対応について、児童や保護者に

避難時の行動の仕方を知らせている。

児童:地震や台風などが起きたとき、避難の仕方を知っている。

(学校にいるとき)



今年度は雨天時の引き渡し訓練を行いました。訓練としての動きと、実際に生起した際の動きを考えるとどうしてもずれが生じてしまいます。今後は現実に即した内容で動きを想定できるよう検討を進めてまいります。今後ともご協力いただきますようよろしくお願ひいたします。